

Y-1:非営利団体セッション

開催日時・会場 9月14日(火曜日) 10:30 - 12:00 WEB-ONLY

研究開発環境の効率化に資するresearchmapの利活用

本セッションでは、我が国の研究者総覧データベースであるresearchmapの利活用による大学等における業務改善を議論します。

researchmapは国内研究者情報を一元的に管理・公開するデータベースとして、共同研究や産学連携の促進、評価等での活用が期待されるほか、大学等研究機関では業績管理等のマスターデータベースとしても活用されています。現在、登録者数は30万人を超え、令和元年度にresearchmap V2にリニューアルしてAIによる業績の自動登録やAPIの拡充などの新機能を提供したことにより、さらに便利になりました。近年は競争的資金の申請・報告フローにおいても、researchmapの活用が進んでいます。researchmapデータの活用の面では、第6期科学技術・イノベーション基本計画において「我が国の研究力を多角的に分析・評価するため、researchmapを活用しつつ効率的に研究者に関する多様な情報を把握・解析する。」と記載されており、研究者総覧データベースとしての重要度がますます増えています。

上記のように、複数の面においてresearchmapはURAの業務と関連していると考えています。本セッションでは、平成26年よりresearchmapを運用するJST情報基盤事業部からresearchmapの機能等をご紹介するとともに、researchmapを利用されている複数の大学、研究機関の登壇者の方から利活用事例を紹介いただきます。また、後半には会場から利活用方法やresearchmapへの期待などについて広く意見をつのり、議論する場とします。

オーガナイザー



波羅 仁:科学技術振興機構・情報基盤事業部・課長

民間企業を経て2006年に科学技術振興機構に入構。ファンディング事業（国際事業、戦略事業）、経営企画部などを経て2019年から情報基盤事業部。現在は部内企画調整業務を担当。

講演者


廣森 聡仁:大阪大学・経営企画オフィス・准教授

2004年 大阪大学 大学院基礎工学研究科
博士後期課程修了。博士(工学)。日本学術振興会特別研究員(DC2)を経て、
2005年より2008年まで、株式会社NTTドコモに所属。大阪大学大学院情報
科学研究科助教、講師を経て、2016年より、大阪大学経営企画オフィス
准教授。大阪大学における研究者データベースやデータ基盤の企画及び
運営に従事。


**利光 哲哉:岐阜大学・学術研究・産学官連携推進本部
研究プロジェクト企画・推進部門・特任講師(URA)**

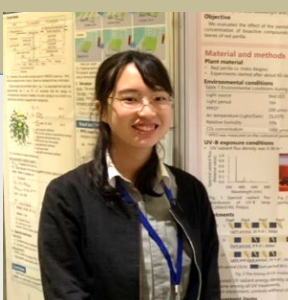
本学戦略的統合DBを設計/構築。researchmapをベースにKAKENやScopus
データ融合させて分析。H30年度先端研究基盤共用促進事業採択-機器共
用予約システム構築。R2年度先端研究設備整備補助事業採択-遠隔化/自
動化でVR/MR等を活用した仕組構築。令和3年から機構大学IRの戦略的統
合DB企画に参画。専門は経営管理、大学IR、DWH/Big Data/AI活用等コン
サル/システム構築。


**阿部 京子:学校法人 北里研究所・北里大学
白金図書館・課長**

当法人において3学部図書館を経験し、勤続40年図書館一筋の大学職員で
す。
今回は、これまで研究者の業績を取り纏め、編集する担当として関わっ
てきましたので、その経緯をお話いたします。
また、当館は構想-着工-完成(2019年9月)まで8年かかり、これまでの経
験を注ぎ込んだ集大成ともいえる図書館となりました。是非、見学にお
越しく下さい。ご案内させていただきます。


**青木 直美:防災科学技術研究所・企画部研究推進課
兼 イノベーション共創本部共創推進室・主任**

民間、公的研究機関での事務を経て、2015年より現職。初の研究支援業
務であったため、ゼロからのスタートではあったが、所内外の協力を得
て、競争的資金、研究助成への応募・採択に結びつくような支援を試行
錯誤しながら実施中。


**島田 楓奈恵:科学技術振興機構・情報基盤事業部・
係員**

2021年4月科学技術振興機構に入構、同月より情報基盤事業部人材情報グ
ループに配属され、researchmapを担当。